

令和2年度第1回（第5期第2回） 新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和2年12月16日（水）午後6時～8時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委員：植田、遠山、長山、笠井、松尾、横倉、青木、太田、遠藤各委員
事務局：菅野文化観光産業部長、村上産業振興課長、出沼産業振興係長、吉田産業振興主査、江下主任

【欠席者】 富田委員、望田委員、友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

- (1) 新型コロナウイルス影響下における中小企業の景況等と区取組について
資料1、2に基づき、事務局より説明した。
- (2) 産業振興プランに掲げる施策の実施状況について
資料3に基づき、事務局より説明した。
- (3) 第二次実行計画（素案）について
資料4に基づき、事務局より説明した。

3 主な発言内容

- ・産業振興プランに掲げる方向性にICTを活用した事業展開支援があるが、DXの本質は働き方改革とか業務効率・管理効率という面にある。DXでもって特殊な知識や経験がなくても利用できる平準化・効率化したモジュールを採用し、社会全体で効率が良くなるようなことに目を向けた施策を新宿から始めていけたら良い。
- ・コロナ禍における企業倒産件数はリーマンショック時の半分くらい。その理由としていくつか考えられるが、早い段階で資金確保に動いた企業が多かったことと、行政が金融支援を行ってきたことが大きかったのではないかと。今後、借り入れた資金が底をつくときに再度行政が借入れを積極的に進めていくかどうかで倒産件数が変わってくるのではないかと。
- ・第二次実行計画について、コロナの緊急対応ということではなく、アフターコロナの中で中長期的に見てどういったことが必要かを考えていく必要がある。

（その他、コロナ禍において各委員が直面している現状や今後の方向性などについて意見交換した。）

4 次回日程について（予定）

産業振興会議

日 時：令和3年3月

会 場：B I Z新宿

5 閉 会